

J R米坂線の早期復旧に関する決議

令和4年8月に発生した記録的な豪雨は、置賜地方を中心に甚大な被害をもたらしました。特にJ R米坂線については、不通となっている今泉（山形県）～坂町（新潟県）間の復旧に86億円の経費と5年の工期を要するとの見込みが示されたものの、復旧に向けた具体的な見通しは立っていない状況にあります。

J R米坂線は本町にとって、町内外を結ぶ重要な公共交通機関であり、昨年の災害によってそれが寸断された形となりました。高齢化が進む本町において、同路線は町外の医療機関を受診する際の必要不可欠な移動手段であるほか、高校生の通学にも重要な役割を担っています。発災直後からバスによる代行輸送が行われていますが、利便性等の観点から、高齢者や高校生を中心に鉄道の復活を望む声が多くあがっています。

また、車窓に映る溪谷や山々の四季折々の風景は、他に誇れる財産であり、鉄道観光客の減少は大きな打撃であります。

このままの状態が長く続くと、住民生活や観光・経済活動に大きな影響を及ぼし、その結果、人口減少が加速し、地域活力のさらなる低下につながる恐れがあります。

こうした状況を踏まえ、小国町議会は、町民の方々の意を汲み取りながら、下記を重点項目に掲げて取り組んでいくことを、ここに決議します。

記

- 1 住民の生活を守る交通手段として、国や県及びJ R東日本等の関係機関に対し、一刻も早い復旧に向けた強い働きかけを行っていきます。
- 2 復旧と合わせ、観光振興等地域の活性化に関し、町内の関係者、団体と協力しながら、利用促進に向けた取り組みを行っていきます。

令和5年9月15日

小 国 町 議 会